

図書室

今月のお知らせ

社会教育センター図書室

☎ 28・5449

休館

資料整理のため、8月31日(火)は、図書室をお休みします。

新刊

児童書

正吉とヤギ

塩野 米松 文 矢吹 申彦 絵 (福音館書店)

小さな島に暮らす6歳の正吉の家に、子ヤギがやってきた。大喜びの正吉は、小屋をつくったり草原に連れていったり。けれど、ある日、島の沖合で轟音が響き、たくさんの黒い軍艦が現れ…。太平洋戦争末期の沖縄が舞台の物語。



一般書

雨夜の星たち

寺地 はるな 著 (徳間書店)

他人に感情移入できない三葉雨音。同僚星崎くんの退職を機に仕事を辞め、移動手段のないお年寄りの病院送迎や雑用をする「しごと」をはじめ…。「めんどろな人」の機微を描く。



一般書

星に祈る

あさの あつこ 著 (PHP研究所)

深川で続く謎の行方不明事件。おいちはその事件を気にかけてつづ、女の医者を育てる医塾に通おうとするのだが…。



一般書

雨の日は、一回休み

坂井 希久子 著 (PHP研究所)

40代で派遣社員。ストレス解消にネット上で女子高生を装う男がピンチに…。『天気雨』ほか、働くおじさんの日常を時におかしく、時に切なく描く全5編の連作短編集。



豊山俳句クラブ 青山克己 選

空まろくまろく歩いて額の花

高木須磨子

新緑の緑表札隠しけり

山下敬太

梅雨晴間重機の音のひびきけり

田村多喜子

いつの間に「暑い」が似合ふ昼下り

坪井昭子

整然とどこまで続く蟻の道

谷崎 琴

尺八のくぐもる音や梅雨じめり

東海林宗義

コロナ禍の無言つらぬく水中花

杉浦みどり

すれ違ふ作務衣の僧に蚊遣香

岡島 齋

花空木匂ふ垣根や土管坂

坪井径子

ビルとビル影のつながる夕薄暮

水野眞弓

山からの風を背にする夏帽子

青山とも子

田水張りばつんと水の農夫かな

青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

出不足の吾の背を押す春風に乗せられてゆく外の畑に

小出寿枝

葉桜に人影もなく野良猫の野良猫の眠る姿に葉影の揺れる

中澤芳子

青空に誇らしく咲く桜花賛辞を浴びてはらり散りゆく

橋爪しづ子

夕茜にひとつばたごはゆらめきて花群しはし白き幻想

柴田満枝

春寒か否夏寒か狂ふ季に若葉も感ふか雨に枝垂るる

一柳千鶴子

目借り時知らぬ言葉に辞書を引く老いの身なれど嬉しさのあり

この電話も最後とならむと胸迫り

涙溢れる姉との電話

山田 米

乾燥の花壇に水を掛けやればジョウロの先に虹の現はる

眠たげに真鯉も緋鯉も垂れてゐて

強く吹く風待ち侘びてをり

荒川昌枝

水温み萌え立つ若葉に気をもらひ若き時代を思ひ出しをり

空青く小川流るる春の音日射しきらめき水草揺れる

渡辺トヨ子

編集後記

特集にあるとおり、7月26日から、町の青山高添バス停に北名古屋市巡回バス「きたバス」の乗り入れが開始した。小牧市のこまき巡回バス「こまくる」も昨年12月から乗り入れを開始している。周辺自治体へお出かけの際の足の1つとして利用していただきたい▼バス業界では、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続いている。観光バスだけでなく、一般路線バスの運送収入が3割以上減の事業者は44%となっている。町でも、昨年11月に公共交通緊急アピールを宣言するほど、地域のバス事業者の窮状が続いている▼このような中でも、各地のバス事業者では新たなサービスの提供に挑戦している。新潟県では7月、全国初の試みとして、ワフチン接種バスツアーを行った。バス車内での医師によるワフチンの解説や、下車から受付・終了後の乗車までの添乗員によるエスコート、接種予約が済んでいない人へのバス予約時の接種予約代行などを行っているという。参加費は1人100円で、1人から催行しており、参加者からも満足の声が上がっているようだ▼この事例以外にも、移動式ワフチン会場としてのバス車内の利用、地元の高齢者の買い物支援のための「お助けバスツアー」など、様々な企業が新たな取組を進めている▼厳しい状況でも諦めることなく、改善・挑戦を続ける姿勢は、敬服に値する。自身においても、仕事をしていく上での模範としていきたい。バスを利用する際には、バス事業者で働く人たちの新たな取組にも目を向けていただければと思う。